

桜の開花が年々早くなってきて、入学式の頃には桜が咲き終わっているかもしれないとの報道もありますが、これも温暖化の表れの一つでしょうか。皆様、つつがなくお過ごしのことと拝察いたします。

先日、神戸新聞に興味深い記事が掲載されていました。それは、三田の森林に調査に入っていた神戸大学の末次健司教授(植物生態学)のチームが「妖精のランプ」とも呼ばれる植物「コウベタヌキノシヨクダイ」という30年以上前に生息地の神戸の森林が開発によって失われると同時に絶滅したと考えられていた茎の高さ1ミリ、直径1センチの極々小さな植物を発見した、という記事でした。この植物は光合成をせず地中の菌類から栄養分を吸い上げて生きており、薄暗い森の地面を照らすような幻想的な姿の写真も掲載されていました。後日、NHK神戸放送でも取り上げられました。日の光のない森では無いなりに、じめじめした地中の菌類の助けを借りながら生きていく植物があるということを知り本当に自然の神秘と種の多様性を感じ入りました。木漏れ日の入る里山には里山に生きる種があり、薄暗い森にはそれなりに生きる種がある。種の多様性を守るためには、何よりも「自然を壊さずに」自然の摂理をよく理解しながら、自然と共に生きてゆくことが大切なのだと改めて感じたことです。さて、日本政府は3月13日以降、マスクの着脱は個人の判断にゆだねるとの見解を示しましたが、今年度も定期総会は書面総会とさせていただきます。徐々にコロナ禍前と同じ活動にもどしてゆきたいと考えています。皆様、総会成立のための委任状の送付をよろしくご協力お願い申し上げます。 代表世話人 北田香菜子

令和4年度 下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 30日 作業延人数 245名(10/1 ~ 3/31) 三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林を保全・整備しています。基本的には毎週水・土曜日にメンバーが集まり、笹藪除去・枯松処理など、里山ふれあい森づくり作業を推進中です

▲令和4年11月30日(水)13名のレギュラーメンバーが集合



▲令和4年11月・12月の有馬富士森林公園の自然

▲尼崎信用金庫三田支店の皆さんと枯松処理・笹刈り



▲有馬富士森林公園エリアの笹藪・枯松処理・密集地帯の常緑樹の間伐に注力



11月2日(水) センブリ 11月2日(水)ホソバリンドウ 11月16日(水) ナメコ 11月26日(土) イロハモミジ 12月17日(土) サザンカ

★イベントの開催 イベント日数 12日 スタッフ延人数 66名(10/1 ~ 3/31)

①2月26日(日)シイタケ菌打ち体験会 参加者31名・緑の環境クラブ13名



★里山体験学習支援 ①10月15日(土)北摂里山大学「植生調査」学習支援 受講生30名、講師6名、スタッフ5名、緑の環境クラブ7名：総勢約50名

②10月29日(土)北摂里山大学「植生管理実習」学習支援 受講生30名、講師6名、スタッフ5名、緑の環境クラブ8名：総勢約50名



③11月8日(火)松が丘小学校の川除エリアで里山学習 13名、スタッフ7名

④12月2日(金)松が丘小学校の里山保全体験学習 14名、スタッフ9名



⑤11月29日(火) 弥生小学校の環境学習「森林・樹木・葉っぱのおはなし」 3年生22名、先生3名、スタッフ9名



松が丘小学校の里山学習支援は3回実施
第1回は教室の講義「自然と里山と生活」について
第2回は左上の③11/8の「里山エリアの散策」
第3回は上記の④12/2の「里山保全体験学習」

令和5年度上期の活動予定

- ・ 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
- ・ 5月下旬 有馬高校里山管理体験の支援
- ・ 6月以降 きのご観察会 他の時期に植生・野鳥・昆虫等の観察会

令和5年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、「緑の環境クラブ 第26回 定例総会」は郵便方式に変更 「4月度 春を食する会」の催しは中止。有馬富士公園春フェスティバルは開催されますが、感染防止の為、緑の環境クラブの「フェスティバル 出店」は中止します。